

兵庫医科大学病院

NEWS

病院をもっと身近に
あなたとつながる情報誌

理念
兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針
・人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践
・人間性豊かな、優れた医療人の育成
・高度で、先進的な医療や医学研究の推進
・健康増進活動による保健・福祉の推進
・地域の医療機関との円滑な連携

vol.33
2014年9月発行

学校法人 兵庫医科大学 総務企画部 広報課 西宮市武庫川町 1-1 <http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> 代表：0798-45-6111



診療科の枠を越えた ここころのケア 患者さんとその家族に対する精神保健サービス

昔から「病は気から」とも言うように、病気になるってしまっ
たときの「ここころのケア」はと
ても大切です。ある病気をわ
ずらった患者さんが、小麦粉で
作った菓を「万能薬」と思い込ん
で飲み続けたことで、不治の病
が完治したという言い伝えが
あるくらいです。基本的に、精
神的な治療は精神科で行われま
すが、兵庫医科大学病院では妊
娠・出産をきっかけに精神のバ
ランスが崩れてしまった人や、
手術や治療によって精神的に不
安定になってしまった人など
に対して、精神科の医師やリエ
ゾン精神看護専門看護師で構成
された「精神科リエゾンチーム」
が、診療科の枠を越えて各病棟
の患者さんに「ここころのケア」
をする取り組みを始めています。

妊婦さんのここころの様子

- **妊娠初期(2ヵ月～4ヵ月)**
「妊娠した」という喜びだけでなく、戸惑い、不安など様々な気持ちが押し寄せる時期です。
- **妊娠中期(5ヵ月～7ヵ月)**
少しずつ膨らみ始めたお腹や、赤ちゃんの胎動を感じ、母親になっていく実感が湧き始める一方、赤ちゃんの存在に戸惑い、母親になることへの葛藤がみられる時期です。
- **妊娠後期(8ヵ月～10ヵ月)**
身体的変化から気分が落ち込んだり、不安になったり、疲れやすいと感じることがあります。また、お腹の赤ちゃんを守りたいという「安全性への配慮」から緊張状態が持続する時期です。



妊婦さんや出産直後の患者さんに対するここころのケア

例えば周産期の患者さんは、ホルモンバランスの変化などが影響し、妊娠期間によっては精神的に不安定になることがあります。また出産を終えてもここころのケアは大切です。

皆さんは出産後の症状である「マタニティ・ブルー」や「産後うつ」という言葉を聞いたことはあるでしょうか？「マタニティ・ブルー」とは、出産直後に気分が落ち込んだり、涙もろくなったりする状態のこと。産後のお

母さん10人中2～3人にみられ、通常は2週間以内に自然に収まります。多くの方が体験されており、通常治療は必要ありません。

一方で「産後うつ」とは、産後数ヵ月以内に生じ、楽しいはずのことが楽しく感じられなかったり、これまで興味があったことに興味が持てなかったりと、ネガティブな感情が2週間以上続く状態のことです。産後うつ





産後うつ症状や対策の講座（母親学級）の様子

は、我慢せず早めに治療を受けた方が、お母さんにとっても赤ちゃんにとっても有益です。「子どもが可愛いと思えない」「お世話できない自分が情けない」「母乳の出が悪くて赤ちゃんが泣くと母親失格だと言われているような気がする」など、産後特有の落ち込み、悲観的な考えが続くようなら医療機関で治療することが大切です。

れ方はもちろん、子育て上手のお父さんになるための心構えや「マタニティー・ブルー」「産後うつ」などについても理解してもらえ、内容になっています。お母さんのところからだの健康を守ることは、赤ちゃんを守ることにもつながります。産後のお母さんはすぐに立派なお母さんになるのではなく、一步一步、赤ちゃんとの関係を築きながらお母さんになっていきます。そのプロセスにおいて、気分が落ち込んだり不安になることがあるのは自然なことです。周囲がお母さんを温かく包んでくれることで、お母さんも温かく赤ちゃんを包んであげられるようになります。兵庫医科大学病院では、これからも妊娠や育児を通して女性とその家族が成長し、絆を深めていけるよう、診療科の枠を越えたチーム医療を実践していきます。



手術や治療によって精神が不安定になってしまうと、中には生きる気力を失ってしまう人もいます。そのような患者さんにも、「このケア」はとても大切です。兵庫医科大学病院では「精神科リエゾンチーム」が病棟からの依頼を受け、患者さんとその家族に対して「このケア」を中心とした精神保健サービスを提供しています。

生きる気力を失いかけている患者さんは、いくつものマイナス体験が重なってしまうため、追い詰められていることが大半です。病気による落胆、治療による経済的な負担、学校や仕事上の役割などを含めた社会的地位の喪失、そして家族あるいは、大切な人についての気かりなど、要因は多岐にわたります。また、患者さんの傷病が突発的に重篤な状況に陥ったり、慢性的な病気が長期間に及んでしまうことなども、

生きる気力を失ってしまった患者さんに対するこのケア

心身ともに疲れきってしまった大きな要因となります。普段患者さんのこのケアを担当している吉井ひろ子リエゾン精神看護専門看護師は、「ご自身の健康が損なわれたことだけでも、大きな喪失体験であるのに、さらに、ご家族のことや学校・会社のこと、将来のことなど、いくつもの気かりや負担が重なってくるわけ

ですから、追い込まれた心境に陥ってしまうことの方が、むしろ自然なことだと思います。そこで兵庫医科大学病院では、患者さんの抱えているマイナス体験をしっかりと伺い、このケアの治療や看護をしていきます。また、患者さんだけでなく、家族の皆さんの心身の疲労がないかも含めてケアをしています。

入院中や外来の患者さんからの回復のためにも、「からだどころはつながっている」ことを念頭に、診療科の枠にとらわれずに、これからもこのケアの治療、看護を行っていきます。



兵庫医科大学病院であった こころがホっとする話

ある日突然、重篤な病気を宣告された患者さんがいました。30代後半で1児の母であったその方は、まだ小さなお子さんの将来をとっても気にかけていました。「これからという時に…こんな病気になって…」。母の役割が大きいと考えていた子育て。これからというときに病気になってしまい、周りの家族の生活が一変したこと、また回復の見込みが低いことを悲観していました。小さな子どもと離れて暮らす入院生活に焦りが隠せない上に、長期間に及ぶ副作用の強い治療を受ける日々。自宅に帰りたくても帰れない苛立ちや、母としての役割を果たせない罪悪感。「いつまでこんなことを…」と、悔しさやあせり、悲しみ、苦しみといった様々な感情にさらされ続け、患者さんはだんだんと生きる気力を失っていきました。

そんな絶望の日々の中、突然お子さんが「大きくなったらお医者さんになって、ママの病気を治してあげる!」と言ってくれたそうです。患者さんは「この子のためにも頑張らなくちゃ!」と思い直し、精神科の薬の力も借りることで、もう一度病気と闘う気力を養うことができました。主治医・病棟師長をはじめとした兵庫医科大学病院の治療チームも、気力を回復してもらうために、患者さんの希望していた「ご家族回らんの時間」の確保に向けて一丸となって取り組みました。

退院前、お子さんが患者さんの車椅子を押しながら、売店でいっしょに買物を楽しんでいる様子が昨日のこのように思い出されます。



リエゾン精神看護専門看護師 吉井 ひろ子

中央部門紹介

臨床検査技術部



臨床検査技術部 部長 戊角 幸治

病院には医師や看護師をはじめ、いろいろな分野で仕事をする医療従事者がいます。その中で、臨床検査技師という資格を持った医療従事者が働いているのが、臨床検査技術部です。

私たちが行う検査は、大きく分けて2種類あります。1つは患者さんの身体に触れて測定する「生理検査」、もう1つは身体から血液や組織などの一部を取り出して測定する「検体検査」です。入院・外来を合わせて1日あたり1500件程度の検査を行っています。

※1 心電図検査、超音波検査など
※2 血液検査、微生物検査、輸血検査、病理検査、遺伝子検査など

臨床検査技術部では「精度の高い信頼されるデータを迅速に」を合言葉に皆さんに安



丁寧な採血を心がけて

心して受診していただけるように日々取り組んでいます。直接患者さんに接する場合は、患者さんが快く安全に検査を受けることができるように心がけています。そして患者さんの様子を注意深く見守り、異変が起きたときは速やかに対処できる体制を取っています。直接患者さんと接することが少なく検査を行う場合でも「常に検体の先には患者さんがいる」ということを念頭において検査をしています。



皆さんが元気になることを願っています

に患者さんにご迷惑をおかけしたときは、とても申し訳ない気持ちになります。一方、精度の高い検査データを提供することで、早期発見・早期治療につながるなど、検査によって患者さんのお役に立てたとき、検査後に患者さんから感謝の言葉をかけていただいたとき、お元気になった笑顔を拝見したときなどは「この仕事をしていたて本当に良かった」と感じます。



一緒に看護体験を行うメンバーに、意気込みを伝える

抱えて来られていると思います。私たち臨床検査技師は、そのような患者さんたちに寄り添いながら、明るく節度ある態度で接することを心がけて、これからも検査を行っています。

看護のまごころをもっと知ってほしい
「ふれあい看護体験」で医療現場を体験

21世紀は、少子高齢化の時代と言われています。来るべき超高齢化社会を支えていくためにも、国民一人ひとりが、看護のこころを理解していることが大切です。そのため日本では、1990年の「看護の日」の制定をきっかけに毎年各地で様々な催しが行われています。



体温測定補助を体験

あったり、看護を体験することで、イベント終了後にはとても充実感のある表情をしていました。兵庫医科大学病院ではこれからも、地域社会に貢献するため、看護のこころを伝えていきます。



歩行補助の様子

「くすりの話」

骨粗しょう症のくすり

高齢化社会において、骨粗しょう症は大きな問題となっています。直接命にかかわることはありませんが、これによって起こりやすくなる高齢者の骨折は、寝たきりの原因にもなりかねません。骨粗しょう症の薬は、原因別にいくつかの種類に分けられます。中でもよく使われるものは、「ビスホスホネート製剤」という薬で、骨が破壊されるシステムを途中で止める効果があります。この薬には副作用を防ぎ効果を高めるために、いくつか飲み方に条件があります。それは「朝起きてすぐ、かまわずにコップ一杯の水で服用し、その後30分は食事をとらず横にならない」というもの。なんと面倒ですね。そこで毎日服用しなければならなかった製剤が改良されて、週1回、月1回の服用でよい薬や、半年に一度の投与でよい注射製剤もできました。症状や生活パターンに合ったものを医師と相談し、選びましょう。





わらおう。

誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20
Tel. 0798-44-3577
Fax. 0798-41-6400

月・水・金 8:30~19:00
開局時間 火・木 8:30~17:30
土(第2,4除く) 8:30~13:00
定休日 第2,4土・日・祝



兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします



くるみ薬局では、「地域に密着した、信頼と親しみのおける、かかりつけ薬局」を目指しております。お気軽にご相談ください。

くるみ薬局では、すべての病院・医院の院外処方せんを受け付けております。

住所: 〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
電話番号: 0798-46-1155 FAX番号: 0798-46-1157
営業時間: 月~金曜日 9:00~18:00 / 土曜日 9:00~14:00
*処方せん受付は8:30から行っております。
定休日: 第2, 第4土曜日、日曜日



くるみ薬局 武庫川店

<http://www.kurumi-ph.jp>



阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。

処方せん受付

兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受け付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。皆様のご利用をお待ちしております。



武庫川店

[営業時間] 月~金 8:30~17:30 第1・3・5土曜 8:30~13:30
[定休日] 第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



[営業時間] 月~金 8:30~17:30
[定休日] 土、日、祝日
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局

<http://www.hanshin-dp.co.jp>

処方せん受付

NISHI PHARMACY

Nishi Pharmacy 西薬局 武庫川店

兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階 院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。お気軽にお申し付けくださいませ。* 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局 武庫川店

TEL: 0798-43-3232
FAX: 0798-43-3233
月曜~金曜 9:00~18:00
第1・3・5土曜 9:00~14:00
休日 第2・4土曜
日曜・祝日
薬局前に P アリ



市民健康講座のお知らせ

参加費無料・申込不要 (定員60名)

兵庫医科大学病院は特定機能病院として、より高度な医療技術と医療情報を提供するとともに、地域の基幹病院として、患者さんやそのご家族、そして地域住民の皆さんとの間に医療を通じて深い信頼関係を築き、患者サービスの向上を図ることを目的として、本講座を定期的に開催しております。どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。

開催日	テーマ	講師	講演者
10月8日(水)	染色体検査について	臨床遺伝部	主任技師 三村 博子
10月22日(水)	家族性腫瘍	産科婦人科	講師 鐺本 浩志
11月19日(水)	大腸癌検診を受けよう!	炎症性腸疾患内科	講師 樋田 信幸

開催場所 兵庫医科大学 10号館3階 第3会議室 (平成26年9月29日現在)
開催時間 午後3時~4時30分 【午後2時30分開場】
お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 電話番号: 0798-45-6035(直通)

病院NEWSのバックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html>

または、[学校法人兵庫医科大学 病院NEWS](#) で検索してください。

兵庫医大病院、全国の病院・医院処方せん、お受けします

フロンティア薬局 武庫川駅前店

月曜日~金曜日 9:00~18:00
第1・3・5土曜日 9:00~14:00
第2・4土曜日、日曜日、祝日はお休みです。

TEL:0798-42-6702

FAX:0798-42-6703 無料FAXカードをご用意してお待ちしております。

〒663-8131 西宮市武庫川町2-19P-1ビル1階

